

SENDto2050PROJECT
名古屋市生徒会サミット 2014
実施報告書

©2009 Mugen Edutainment Foundation



■日時：2015年1月18日（日）

■場所：名古屋市立笹島中学校6F ランチルーム

SEND to 2050 PROJECT

名古屋市生徒会サミット 2014

■主 催 NPO 教育支援協会東海

■共 催 名古屋市教育委員会
公益財団法人夢現エデュテイメント

■協 賛 (敬称略 アイウエオ順)

- ・株式会社 オーシャングローバルネットワーク
- ・株式会社 キョーイク
- ・株式会社 星煌学院
- ・株式会社 名大スカイ
- ・AUAU 建築研究所
- ・株式会社 MK サポート
- ・株式会社 カムロ
- ・社会福祉法人 フィロス
- ・株式会社 トラベルクラフト
- ・ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社
- ・株式会社 SWIFT JAPAN

■協 力 名古屋市立笹島中学校

■ファシリテーター

- ・全体ファシリテーター
SENDto2050 高校生実行委員会 後藤 陽菜乃 (福島県福島市)
- ・防災ファシリテーター
SENDto2050 高校生実行委員会 遠藤 涼香 (福島県いわき市)
- ・環境ファシリテーター
学生団体 STUNITY 山縣 広晃 (東京都)
- ・いじめ撲滅ファシリテーター
SENDto2050 高校生実行委員会 寺地 夢穂 (大阪市)

■ボランティアスタッフ

- ・学生団体 STUNITY 藤塚 一起 (東京都)
- ・学生団体 STUNITY 佐藤 佑太 (東京都)
- ・NPO 教育支援協会神奈川 神尾 真弓 (横浜市)
- ・垂井っ子 YAO (垂井北中学校) 桐山 卓大 (岐阜県垂井町)
- ・垂井っ子 YAO (垂井北中学校) 児玉 直也 (岐阜県垂井町)

■映像

(株) シネマズギックス代表 馬杉 雅喜

■ディレクション

西尾 真由美 (教育支援協会東海専務理事)
二瓶 勉 (福島県福島市福島第四中学校)



■趣旨

名古屋市の中学生の次世代リーダー達が一堂に集い、問題解決に向けたアクションを創り出していく。本サミットを通じて、ゼロからイノベーションできるリーダー育成へと繋げる。

■内容

大テーマを「生徒会として行える地域貢献」とし、熟議を行う。

名古屋市内から集まる中学生リーダー達が、①防災、②環境、③いじめ問題の3つのテーマ別にチームを作り、地域貢献のための行動を起こせる協働チームとして、課題解決に向けたアクションプラン（活動計画）を作成する。サミット終了後、できる限りアクションプランを実践へ繋げ、次世代リーダー達の挑戦を発信していく。

■タイムスケジュール

時間	内容
9:30	<u>受付開始</u>
10:00	<u>オープニングセレモニー</u> ・主催者あいさつ 教育支援協会東海代表 本多功 ・SENDto2050PROJECT「STAND UP2013」映像観賞 ・ファシリテーター紹介 ・アイスブレイク
10:55	<u>熟議1部開始</u> テーマ「地域の課題に対して、中学生生徒会として出来る事とは？」 （事前学習を交流しながら、課題解決に向けた自己の考えを出し合い、議論する）
11:35	テーマ別発表⇒アクションプラングループ編成 ① 地域内で自分（または自分達）が「行動する」アクションプラン ② 地域の人達と連携する「巻き込む」アクションプラン ③ 地域の現状を調べ、活動を「広める」アクションプラン
12:00	昼食休憩
12:45	スペシャルサポーター応援メッセージ映像（ソナーポケット） <u>熟議2部開始</u> テーマ「名古屋市中学生生徒会が、協働して行うアクションプラン決定」 （アクションプランを決定し、実践計画を立てる。）
14:00	アクションプラン決定 ⇒ 発表準備
15:00	<u>発表</u> （アクションプランの発表。生徒12チーム・先生1チーム）

15:40	<u>エンディングセレモニー</u> ・講評 名古屋市長 河村たかし氏 ・総括 SENDto2050PROJECT 森下雄一郎氏 ・集合写真 ・事後感想
16:45	<u>終了</u>

■参加校 17校・計71名

① 防災	② 環境	③ いじめ撲滅
日比野 中学校 鎌倉台 中学校 志段味 中学校 助 光 中学校 田 光 中学校	守 山 中学校 円 上 中学校 宝 神 中学校 山田東 中学校 守山東 中学校 北 山 中学校 八王子 中学校	はとり 中学校 御 田 中学校 城 山 中学校 香 流 中学校 瑞穂ヶ丘 中学校



10:00 開始



■教育支援協会東海 代表理事 本多功 挨拶

「君たちのようなリーダーがいて、フォロアーが現れれば、ムーブメントが起きる。私たち大人は全力で君たちをサポートします。」

■SENDto2050PROJECT「SUTAND UP2013」映像鑑賞

■ファシリテーター紹介

熟議を進行するファシリテーターやスタッフが各地から来てくれました。



- | | | | |
|----------------|---------------------|-------|-----------|
| ○全体ファシリテーター | SENDto2050 高校生実行委員会 | 後藤陽菜乃 | (福島県福島市) |
| ○防災ファシリテーター | SENDto2050 高校生実行委員会 | 遠藤涼香 | (福島県いわき市) |
| ○環境ファシリテーター | 学生団体 STUNITY | 山縣広晃 | (東京都) |
| ○いじめ撲滅ファシリテーター | SENDto2050 高校生実行委員会 | 寺地夢穂 | (大阪市) |

○ボランティアスタッフ

学生団体 STUNITY

藤塚一起

(東京都)

学生団体 STUNITY

佐藤佑太

(東京都)

教育支援協会横浜

神尾真弓

(横浜市)

垂井っ子 YAO (垂井北中学校)

桐山卓大

(岐阜県垂井町)

垂井っ子 YAO (垂井北中学校)

児玉直也

(岐阜県垂井町)

■アイスブレイク



大きな輪や小さな輪を作って
はじめて会う仲間と
コミュニケーションを図ります。



はじめは、緊張していましたが
体を動かすと、自然に笑顔があふれ
緊張もほぐれました。



10:55 ~

■熟議第1部開始

事前学習を発表しながら、テーマ別の課題を模造紙にまとめます。



参加者は全員、事前にテーマ別の課題を800字のレポートにまとめて来ています。



11:35 ～

■アクションプラングループ編成

アクションプランを考えるポイントを3つに絞り、自分がやってみたいアクションを決めて、グループ編成をしました。

- ① 地域内で自分（または自分達）が「行動する」アクションプラン
- ② 地域の人達と連携する「巻き込む」アクションプラン
- ③ 地域の現状を調べ、活動を「広める」アクションプラン



自分が行いたいアクションプランに挙手をして、グループ編成を行いました。

12:00 ～

■昼食休憩



昼食をとりながら、アクションプランのグループ毎に、自己紹介をしたり、自校の紹介をしたりして、互いに打ち解けました。



■SEND to 2050 PROJECT スペシャルサポーターからのメッセージ



名古屋出身の人気グループ「ソナーポケット」から、応援のビデオメッセージが届きました。

「生徒会サミットで、地元名古屋をより良くするために話し合い、頑張って行動に移してほしい。僕たちも応援しています！」

12:45 ～

■熟議第2部開始

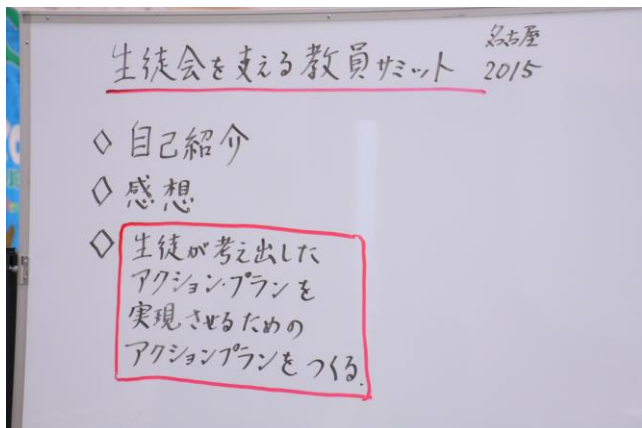
アクションプランを決定します。具体的な実践計画を立てました。





■先生方の熟議

今後生徒がアクションを実践するためには、先生方の協力も不可欠です。
当日ご参加いただいた先生方も、日々野中学校の上井校長先生のファシリテートで、熱の入った熟議を行っていただきました。



14:00 ~

■アクションプラン決定 ⇒ 発表準備

福島から参加してくれたファシリテーターの後藤陽菜乃さんの

「発表のために話し合ってるんじゃないんだよ。この場はみんなが一つになる場だよ。
模造紙なんてくちくちやでもいい。みんながどれだけ思いをひとつにするかだよ！」
という熱い語りかけを受けて、みんなの温度も MAX にあがりました。



15:00 ～

■発表

アクションプランの発表に、河村たかし市長も応援に駆けつけてくださいました。



各テーマ別にアクションプランを発表しました。

「行動する」「巻き込む」「広げる」をキーワードに作成したアクションプランです。
1チーム2分という限られた発表時間でしたが、どのチームも、分かりやすく、
そして力強い発表をしてくれました。

■環境グループ発表

【環境クリーン大作戦】



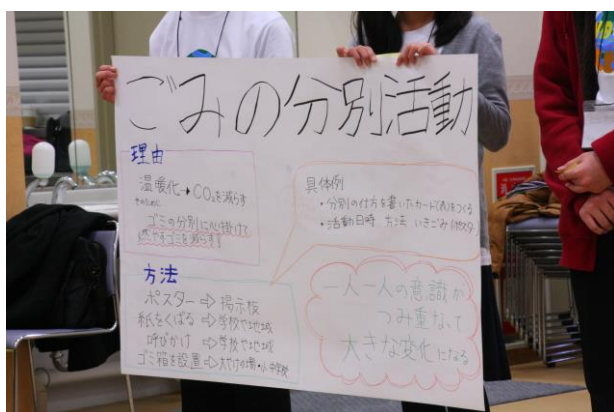
【地球のために私たちにできること】



【今の暮らしを続けるために】



【ゴミの分別活動】



【ゴミ減少にむけて】



■防災グループ発表

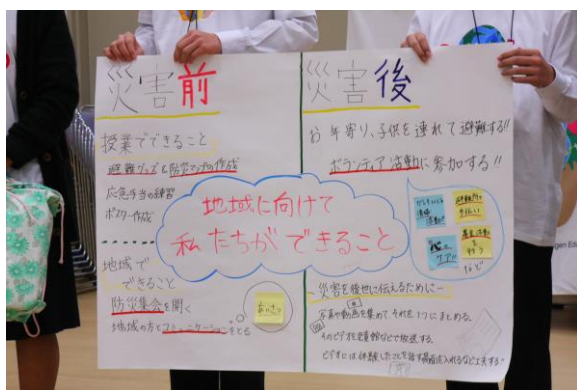
【巻き込む防災アクション】



【地球の命を守りたい】



【地球に向けて私達ができること】



■いじめ撲滅グループ発表

【学校（クラス）を明るくする】



【毎月楽しい行事でいろいろな人と交流しよう】



【イベント制作委員会】



【知る・話し合う・広げる】



生徒発表 以上 12 チーム

■先生グループ発表

【ビジョンを持って】



先生方からも熱くそして温かいお言葉を頂戴しました。ありがとうございました。

15:30 ~

■講評 河村たかし名古屋市長より、ご講評をいただきました。



「アクションプランを実行していくときはたとえ誰に反対されても、あきらめずに頑張ってください。」

■総括 SENDto2050PROJECT 森下雄一郎代表より総括してもらいました。



「グローバルリーダーとは、自分の育った地域を知り、愛し、誇りを持つことができる人。そんなリーダーが名古屋の地に育ってくれることを心から期待しています。」

16:45

■集合写真を撮ってサミットを終了しました。みんな達成感のある笑顔です。



今回の生徒会サミットを開催するに当たり、多くの方々にご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。
また、参加してくれた生徒会の皆さんも、本当に真剣に話し合い、アクションプランを作り上げてくれてありがとうございました。
ぜひ、実践に移しましょう。

参加した生徒さんの感想（抜粋・順不同・敬称略）

■城山中学校 2年 岡村瞳

自分たちの学校で考えた案が他校の生徒たちの案と一緒にあってより良くなるとてもいい機会でした。このより良くした案を自分たちの地域で行い、地域、名古屋、愛知、・・・日本を良くしていきたい！とも思いました。

ここで得た経験、会話、この全てが自分の何かに生かし、変えていきたいと思います。そしてどんなに反対されてもここで得た案をどのような形になっても実現していきたいです。

■日比野中学校 2年 神谷知里

今日は、サミットがどんなものかあまり知らず、不安だったり、ドキドキして来ましたが、実際に他校の生徒会メンバーと話し合うことで、想像できなかったくらいの熱いキモチが自分の中でできました。正直こんなステキな会だとは知らず、今日は参加することができて、とても良い経験になりました。自分の学校に帰り、自分たちの考えたアクションプランをできるだけ達成できるよう、先生や生徒、地域に、どんどんぶつかっていきたいと思います。

■はとり中学校 1年 白石苑加

私は「いじめ撲滅」をテーマとしてチームと熟議したのですが、こんなにいじめについて真剣に考えたのは初めてだったので、すごく充実した時間を過ごすことができました。地域の方と関わるのはとても難しいからできないのではないかと考えていたのですが、同じチームの人の意見を聴いているうちに、「もしかしたらできるかもしれない」と思いが変わり、さらには自分の意見もどんどん言うことができたので、自分に驚きました。自分たちの学校に着いたら、今日話し合ったことを絶対に行動に移したいと思います。「いじめ問題」というと、とても深刻な問題なので、対策も大変なものになりそう・・・という思いが、楽しくできそう！！と気持ちが変わった事、それが今日一番の収穫だったなと思います。

■鎌倉台中学校 2年 山田真子

短い時間の中で、問題をまとめてアクションの計画まで立てるのは難しいだろうと当初は考えていました。ですが、同じことを熱く考えている人が集まれば、ここまで企画が進むのかと驚きで胸がいっぱいです。事前学習でも、たくさんのことを考えましたが、やはり声に出して話し合い、意見をぶつけ合うことが必要なのだと改めて思いました。有言実行、口だけではいけないと分かっています。けれど、はじめの一步を出すことには勇気がいります。私はこのサミットを通して、「みんなで考えて、みんなで一步を踏み出せばきっと大きなことが実現できる」と感じました。同じ志を持って集まることのできる生徒会サミットは本当に素晴らしかったです。助けてくれたお姉さん、お兄さん、本当に、本当にありがとうございました。私も皆さんを目指して一步を踏み出します。

■瑞穂ヶ丘中学校 2年 梶浦彩楓

最初は緊張で不安がいっぱいであまり話せなかった。でも、アイスブレイクでいろんな人とふれあい、いつの間にかいつも通りに話せるようになり、とても楽しかった。話し合っている時間がとても短く感じられ、「まだ終わりたくない」と思っていた。「いじめ」についていろんな人とお互いに意見を出し、深く考えることができました。真剣に話すことができ、「皆にもきちんと考えてもらい、話し合ってもらいたい」そう思いました。他の学校の様子を聞くことで、良いアイデアが出たり、共通する部分を見つけることができ、貴重な体験となりました。発表準備の時、皆で早く準備できる方法や、どのようにしたら見やすいか、伝わりやすいかを考えた時、もう、緊張も不安もありませんでした。このサミットで学んだことはとても多くあります。これらを学校生活に生かしていくこと、そして、全校生徒に伝えることまでが、私たちの仕事だと思います。実際に学校でアクションプランに取り組み、頑張っていきたいです。今日一日は、とても素晴らしい体験でした。

■円上中学校 1年 鈴木琴音

いろいろな学校の生徒会の人達がいて、同じ目的を持っているので、すごくいい時間が過ごせました。グループの人みんながそれぞれ積極的に意見を言ってくれるし、各学校の活動も知ることができ、とても参考になりました。それに、手伝いなどをしてくれた大学生の方達もいろいろなアイデアを出してくれたりして本当に助かりました。今回グループで出たアクションプランを中学校で実行するのはとても大変だと思います。しかし、同じグループの人達と一生懸命考えたので、みんなで協力し合い、実現していきたいと思います。そして、地域から市、県、日本、世界と、様々な環境問題に目を向け、住みやすい町をつくっていきたいと考えるようになりました。楽しかったです！！

■円上中学校 2年 鈴木若奈

私は環境問題の、主にゴミ問題について話し合いました。ゴミのポイ捨てを減らすためにグループ全員で改良すると良いところやこれからどうしていくかなどを話し合いました。他校の生徒、しかも「自分たちの地域を良くしたい」と思っている人達と考えを出し合うことができるというとても貴重な経験をすることができました。今日の貴重な経験を生かし、明日からの生徒会活動を充実したものにしたいです。また、学校の先生方とこれからどうしていきたいか、今日考えたアクションプランを元に話し合いたいと思います。とても充実した1日でした。

■宝神中学校 2年 安井大晟

SENDto2050 を開いてくれた森下さんに感謝と、これからも頑張ってもらいたいと思います。いろいろな人と話せて楽しかったです。自分が将来先生になったら、森下さんが行っているようなプロジェクトに協力させてもらいたいと思います。自分たちが震災にあった時、少しでも地域の力になれる人になりたいです。

■助光中学校 2年 鈴木あいか

今回サミットに初めて参加させていただいて、自分の中で思い描いていたこととは全然違う意見、また、一緒に考えでも、それをどう実行に移すかという点で意見が違う、また、同じだったことにより、地域での対策の仕方があり、また様々な考え方があることを知った。なので、これからは自分の意見ばかりで行動に移すのではなく、他者の意見も取り入れることで実行に移せるようにしたいと思っています。今回サミットで「防災」について話したことを中学校に帰ってから実行に移して行けるよう計画していきます。今回サミットに参加させていただいて、とっても良かったです。また、サミットを通して他の生徒会とも意見を交換していきたいと強く思いました。

■守山東中学校 2年 柴田萌菜美

～生徒会サミットに参加して～

「学校の代表として、初対面の人と話し合いなんてできるのか？」これが生徒会サミットのことを初めて聞いた私の思ったことです。私は知り合いとならズバズバ言い合えるのですが、初対面の人とは全然話せないの、心配と不安で一杯でした。しかし、ここにきて一転、心配や不安は消え去り、「同じゴールを目指す仲間」との討論がすごい楽しみでした。初対面のはずなのに、同じ気持ちの人達なので、初対面なんて忘れるくらいズバズバ言え、熱くなりました。たまに熱くなりすぎて「今の大丈夫かな…」って思いましたが、全然普通で、思い切りぶつかって来てくれるので、“学校代表”として、“私個人”としていつのまにかぶつかっていました。こんな話し合いができたことにすごく感謝しています。今日のような話し合いは、私達の将来に、未来を変えるためにすごく大事だと思います。学校の人ともできるようにしていきたいです。今日出したアクションプランも学校で話し合い、やれるように頑張っていきたいです！！

■北山中学校 2年 稲葉壮志

今回生徒会サミットに参加して、改めて自分たちが中心となって積極的に動かなければいけないんだと実感した。何か一つのことに向けて仲間と努力することの楽しさが良かった。また機会があったら参加したい。

■田光中学校 1年 原悠貴

私は今回のサミットに出て、一つ思ったことがある。リーダーが集まる中、皆平等に意見を出しているということだ。学校も学年も関係なく、意見を出し合い、発表を完成させる。これは、学校では全く見ることができない光景だ。この体験は平等の素晴らしさを僕に教えてくれた。今回のサミットに出られたことを嬉しく思う。

■香流中学校 1年 鈴木凌雅

今回生徒会サミットで、他校の生徒会委員と熟議ができて、とても楽しかったし、勉強になることばかりでした。同じ想いを持った仲間とアクションプランを立て、それを学校へ持ち

帰り、必ず実行しようと思いました。今日という日がとても楽しく、充実した1日でした。アクションプランを立て、いじめ撲滅へ第1歩を踏み出した気がしました。はじめにビデオを見た時、熱い気持ちがあると言っていました。そして生徒会サミットが終わるころ、同じ気持ちでした。この地域を良くしたいという気持ちでいっぱいです。今のこの熱い気持ちを忘れることなく活動していきます。

■香流中学校 2年 丸山奈純

今回のように他校の子と話し合えて、友達になって、笑って、何より楽しかったです。2050年になっている時には、この「SENDto2050」がたくさんの人に広がって、次の中学生にも受け継がれればいいと思います。このような機会を作ってくれたみなさんや先生、出会えた仲間感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

■志段味中学校 2年 大橋海青

今日 SENDto2050 生徒会サミットに参加してみて、最初は知らない人ばかりで上手く話せるのか不安だったけれど、防災というテーマで地域との交流などを通じて生徒会ができることをやっていきたいという思いや考えや気持ちを持った生徒会の人達ばかりで、それぞれの意見や考えは違うけど、こうしたいという最後の思いはみんな同じで、自分の学校では上手くいかないことでも、こうして今日同じ気持ちの人達と出会えて話せたことで、自分はひとりじゃなくて同じ気持ちの人がたくさんいるんだと思うことができました。意見を共有したりすることでグループの人達と仲良くなれて、すっごく楽しかったです。今日話し合ったことを学校へ持ち帰って身近なことから自分達にできることから実践していきたいです。今日参加して本当に良かったです。

■山田東中学校 2年 伊藤暢浩

初めて集まったメンバーで、どこまで考えることができるのかと思っていただけ、「環境クリーン大作戦」として、地域を巻き込んだ清掃活動を考えることができて良かった。これをこれから実際に実現させて、地域の結びつきを強くできたらいいと思います。他の学校と話し合うことで、今まで考えもしなかったようなことでもできて、これからのヒントとなるものもあり、参考になった。

■八王子中学校 2年 新田海斗

○参加してみて

一つの問題に対して問題を改善しようという志を持った同年代の人と話し合う機会はめったになくて、とても貴重な体験となった。自分一人では一つの視点、多くても2、3の視点しか持つことができず、実はまちがっている、少し足りないところがあることには気づきにくい。それをたくさんの人数、そして同年代の仲間と共に考えると自分では見つけられなかった点と同じ年代だから互いに理解できる場所があり、話し合いがとても楽しく進んだ。

○これから

今回のサミットで話し合ったことを次は学校で共有し、活動に移したい。ただ、皆に伝えてすぐ実行するというのには無理があるし、僕たちのやりたいという意味だけでは中学校が自発的に行った活動とは言えないと思うので、討論の場を設けたりしていきたい。自分達の力は小さいので、一人一人が問題について真剣に考え、アクションを起こしていくことが話し合いを通して大切だと分かってきたので、まずは自分から、そして周りを巻き込んで大きな活動ができるようにしたい。

■守山中学校 2年 西尾太一

いきなり映像のハプニングがあったらしく、少し時間を使ってしまったようだけれど、そこから話し合える環境になるまでがとてもスムーズだった。そのおかげで開始当初と終了時で、会場の様子は大きく変わっていることは誰でも分かるほど明確だった。出した意見は全て「肯定」という考え方で進行していったため、より深い内容になったと思う。意見を出し合うというのがとてもいい経験になったと思う。特に最初は全く知らなかった人と熱心に自分の考えを語り合い、最終的に仲良くなり、友人のような気持ちが生まれたので、良い経験になったと思う。そして僕たち中学生は決して独りではないということもよく分かりました。

■御田中学校 2年 中川満結

「いじめ」について本気で考える人がたくさんいて、独りじゃないんだなと思いました。同じ目標に向かって全然知らなかった子とも呼び捨てにするくらいにまで仲良くなって、発表を作り上げていくのがとても楽しかったです。意見が行き詰まった時は、誰かが新しいアイデアを出してくれました。自分が全然思いつかないような意見もたくさん出てきたので、とても有意義な話し合いになりました。「いじめ」というテーマは、とても重くて、最初は何も思いつかなくて焦っていましたが、今日発表した「いじめについて考えるきっかけをつくる」ということを絶対実行していきたいです。また、こんなに中学生の意見を尊重してくれる場はないと思うので、中学生でもいろんな活動ができるということが分かりました。この経験を生かし、自発的に活動を活発にしていきたいと思います。

■御田中学校 1年 今井美音

私は SENDto2050 のことを今まで詳しく知りませんでしたが、皆でひとつのことを改善に向けて話し合うのはとても楽しかったです。初めは知らない人ばかりで緊張が解けずにはいましたが、話していくうちに、その緊張も解け、仲良くなることができました。私達が話し合った「いじめ」については、難しい問題でしたが、私一人では考えつかないような策が見つかり、自分一人ではできなくても、多くの人とならばできるということを学びました。今回で出た策は御田中学校で必ず成功させようと思います。今回の SENDto2050 ではいろいろなことを学びました。これからも一人の中学生生徒として、御田中生代表として、次世代のリーダーとして頑張っていきたいと思います。



SEND to 2050 PROJECT 名古屋市生徒会サミット 2014 を終えて

NPO 教育支援協会東海

専務理事 西尾 真由美

先ずもって、この度の生徒会サミットを開催するにあたり、ご支援並びにご協力をいただきました、名古屋市教育委員会様、名古屋市小中校長会様、地元企業協働パートナーの皆様、そして、ご参加いただきました各中学校様に厚くお礼申し上げます。

今年度より「地元の未来を担うのは、地元で。」という SEND to 2050 PROJECT の意を受けて、名古屋を拠点とする NPO 教育支援協会東海が企画運営をさせていただきました。

ふるさとを大切に思い、ふるさとのために貢献する、そのためには「自分は独りではない」という「絆」を胸に行動できる「日本の未来を担う青少年」を育成すべく、末永くこの PROJECT を継続する所存です。

今後とも、皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

【成果】

- ・名古屋市の中学校生徒会 17 校 71 名が一堂に集い、地域貢献を大テーマとして行ったサミットは、大きな事故もなく無事終わることができた。会場としてご協力いただいた名古屋市立笹島中学校は、名古屋駅近くにあり、午前 9 時 30 分の受付開始時刻にも、余裕を持って集合することができ、スムーズに受付をすることができた。また、冬季の開催であったが、会場の空調設備も整っており、参加者に負担をかけずに進行することができた。
- ・会を進行するファシリテーターは、サミットを多く経験してきた OB/OG のため、作り込みの段階から熟考して会に臨むことができた。
- ・T シャツを配布したことで、会場に一体感を生むことができた。
- ・参加した生徒からの事後の感想では、ほとんどの生徒が「参加して良かった」との言葉が記載されており、一定の満足感を提供できたのではないかと思います。

【今後の課題】

- ・次年度は開催時期を検討したい。受験や年度末のあわただしい中であったことと、日曜日であったことから、参加生徒や特に引率の先生方には大変なご負担をおかけした。名古屋市教育委員会や校長先生方からご教授いただきながら、次回開催時期を決定したい。
- ・今回、会を進行するファシリテーターは、経験者であることを考慮し、遠方から招いたが、今後は名古屋市のサミットに参加した生徒会役員が高校生実行委員会に加入してくれて、今後の名古屋市生徒会サミットのファシリテーターになってくれることが理想である。それが次世代のリーダー育成に繋がり、継続していくことの意味にも繋がると考える。
- ・参加の生徒からは、一定の満足感を得られたと思うが、サミットは実践のためのきっかけであり、今後の実践に繋げていくことが最重要課題である。
- ・地元企業協働パートナーの案内を各引率の先生方に配布させていただいたが、今後の実践に向けて、どんな協働の仕方があるか、いまだ手探り状態である。各校の担当の先生方にもご連絡させていただきながら、最大限のサポートを行っていきたい。